

# 梨の花



## 市川市立稲荷木小学校

〒272-0024 市川市稲荷木1-14-1 Tel 376-5961

<http://www.toukagi-syo.ichikawa-school.ed.jp>

### 言葉の大切さ

校長 清田 博之

学校では、たくさんの子供たちが安全に楽しく生活することができるために、大切にしていることがたくさんあります。挨拶や言葉もその一つです。

子供たちはふだん、教職員や友達、外部の方と様々な挨拶や言葉を交わし、コミュニケーションをとりながら生活しています。それでは、どんな挨拶や言葉があるのでしょうか。

例をあげると、朝の「おはようございます」、食事の際の「いただきます・ごちそうさまでした」トラブルがあった時の「ごめんなさい」、相手に何かをしてもらった時の「ありがとう」、学校に来校された方に「こんにちば」、見学先での「よろしくお願いします」、そして下校時の「さようなら」などです。

ご家庭ではどうでしょう。子供が出かけるときの「行ってきます・行ってらっしゃい」、帰宅したときの「ただいま・おかえり」などがありますね。そして、これらには、それぞれ意味があるそうです。(他にも様々な説があります。)

「行ってきます」は、「行って必ず帰ってきます」という約束の言葉。

「行ってらっしゃい」は、「行ったら必ず帰っていらっしゃい」という相手の無事を祈る気持ちが言葉になったもの。

「ただいま」は、「ただ今無事帰りました」という報告の言葉。

「おかえり」は、「よく帰ってきたね。よかったよかった」という相手の無事で本当にうれしい気持ちが言葉になったものだそうです。

(なるほど、何気なく使っている一つの言葉や挨拶には、こんな深い意味があったのか)と思いました。そして、このように言葉の奥にある素敵な意味を改めて知ると、何だがこの言葉を使うたびに気持ちが温かくなり、今まで以上に相手のことが大切に思えるように感じます。

言葉一つで仲良くなったり、相手を傷つけたりすることもあります。学校では言葉の使い方、素晴らしさ、大切さ、重さなどを学年に応じて指導しています。



本校は、目指す児童の姿の一つとして、

**挨拶いっぱい 優しい子** を掲げています。

SNS上の心ない言葉による書き込みのため、傷ついたり、中には自ら命を絶ったりする人が増加しているという報道を目にすることがあります。日頃、何気なく使っている言葉の意味を知ることにより、家庭でも言葉を大切にしていこうとする雰囲気をつくっていただけたら幸いです。

## ☆家族が陽性となり登校を控えている児童生徒等の登校再開について

前回のPTA運営委員会（1月8日）で、「市内では、前もってお休みをとってくださる家庭が多く、学級閉鎖等の措置をとっている学校はあまりありません。」というように話をさせていただいてから急転直下、爆発的な感染増加により、現在の市内の小中学校でも学級閉鎖等の措置をとる学校が急増しています。

また、家族が陽性となり登校を控えている児童生徒の数も増大しております。そこで、市教育委員会は保健所と協議をして、以下の対応をとることにしました。

○健康観察期間中に体調不良のない児童生徒は、健康観察期間終了後、校長判断で登校させることができる。（ご不明な場合、学校までお問合せください。）

### ※健康観察期間について

健康観察期間は、患者の感染可能期間内に患者と接触した日を0日として翌日から7日間となります。（今までは10日間でしたが短縮されました）

例）患者の感染可能期間の最終接触日が9月1日の場合 → 健康観察終了日は9月8日になります。

## 3年 消防署見学 1月25日

3年生は、社会科で消防署についての学習をします。そこで1月25日に市川東消防署に見学にいき消防車や様々な設備や訓練の様子について学びました。



### 子どもの感想

- ・消防士さんの毎日の訓練の積み重ねが、ぼくたちの安全な暮らしを守っていることがよくわかりました。
- ・立派な消防士になるための厳しい訓練や重い防火服を着たまの消火活動など厳しさを知りました。
- ・ロープを使を訓練であんなに速く上がるなんてすごいなあと思いました。
- ・新人さんは夜遅くまで訓練していて、慣れるまで何年もかかるそうです。私たちの為にありがとうございます。
- ・東消防署の皆さんは、強い心で勇気のある人たちです。知らないところで誰かの命を救って感謝しています。